



早寝早起き朝ごはん

11月26日、加茂文化ホールラメールともてらすを会場に「子どもの生活リズム向上について」をテーマにした第2回雲南市生涯学習フォーラムが開催しました。

今回のフォーラムには、文部科学省の若手職員や教職員、子どもの居場所づくり活動のスタッフ、教育支援コーディネーター

第2回生涯学習フォーラム開催

ネーターなど関係者140名が参加。シンポジウムや基調講演、分科会を通じて参加者らは、子どもの生活リズムの現状やその対応についての認識を深めました。

基調講演では、埼玉医科大学総合医療センター小児科の星野恭子医師が、生活リズムに関する研究成果を基に早寝・早起き・朝ごはんの重要性を話されました。

その後、分科会へと分かれ、今年度から各中学校へ配置している教育支援コーディネーターを中心に、各学校の「食育活動」や「健康教室」などの取り組みについて意見交換を行いました。

またこの日は、子ども元気あいこ



とばの表彰も行われ、次のみなさんの応募作品が優秀賞に選ばれました。受賞作品は、様々な啓発活動に活用させていただきます。



平成20年4月に、掛合小学校、多根小学校、松笠小学校、波多小学校、入間小学校の5小学校が統合して、新しく「雲南市立掛合小学校」が誕生します。



掛合小学校完成予想図

安全祈願祭には、県議会議員や市、地元関係者など約70人が出席して工事の安全を祈りました。引き続き行われた起工式では、速水市長が「特色ある5小学校の教育文化を受け継ぎながら、新しい時代の教育に対応できる特色ある学校にしたいと思います」とあいさつしました。

雲南市立掛合小学校建設に向け安全祈願祭・起工式



雲南市長の「コ・ラ・ム

新しい年を迎えました。本年が市民の皆様にとって良い年であることを祈念いたします。子供たちが明るく幸せに育つ環境が取り戻せるならば、それはそのまま良い年、明るい世の中の実現につながります。

今、全国で「早寝早起き朝ごはん」運動が進められています。昨年11月に市内加茂町で、生涯学習フォーラムが開催され、その際の講師であるお医者さんが、「早寝早起き」が大切な理由について、データをもとに話されました。それによると、早寝早起きの子供は物覚えが良く、自ずと学校の成績も優れ、情緒も安定し、将来の人格形成にも大きく影響するとのことでした。反対に、それが実践できていない子供は体調がすぐれない、情緒不安定など落ち着かない、と話されました。子供たちの早寝早起きは、お手本となる家族の取り組みが大切です。

新年を迎え、家族で、みんなで、「早寝早起き朝ごはん」を実践しましょう。

そのことは、雲南市総合計画で謳う「世代がふれ合う家族の暮らし、笑顔あふれる地域の絆の実践でもあります。

雲南市長 速水雄一



アフガニスタン青年ら訪問の際 (11月16日)

全国大会へ向け大きな弾み

10月22日、島根中央家畜市場（松江市六道町）で、平成18年度島根県種畜共進会が開催され、雲南市の出品牛が優秀な成績を収めました。

島根県種畜共進会

所有牛がそれぞれ首席に輝き、肉用牛の各部門の首席を独占するなど平成19年秋に鳥取県で開催される全国和牛能力共進会へ向け大きな弾みとなりました。

雲南市の出品牛のうち、雄牛の部で青砥俊夫さん（大東町）、若雌牛の部で山根智恵子さん（木次町）と成雌牛の部で北尾正成さん（掛合町）の

雄牛の部・青砥俊夫さん所有「糸晴桜号」



若雌牛の部・山根智恵子さん所有「なつはなかげ号」



成雌牛の部・北尾正成さん所有「ふじいとかつ号」

雲南市国民保護協議会発足

12月4日、国民保護法に基づく雲南市国民保護計画策定に向けた第1回目の雲南市国民保護協議会が市役所で開催しました。

雲南市国民保護計画は、武力攻撃や大規模なテロなどの事態が発生した場合に備えて、市民の生命や財産を守るため、避難及び救援等の措置や市民の保護のための措置に関し必要な事項を定めるものです。

初回となる会議では、はじめに国や県、市の防災関係者をはじめ通信や運輸業の代表、弁護士など35名が委員に任命されたほか、今後の計画策定までのスケジュールなどを協議しました。



国民保護協議会では今年度中に計画を策定する予定にしています。